

# 2部

フィールド フィールド  
現場から現場へ

---

---

# 私の国家試験受験体験記

---

OB MESSAGE

通信教育部社会福祉学科卒業生 **大友 弘子**

---

「私に寄稿依頼？」突然のご指名に戸惑いましたが、11月発行（試験日まであと数カ月）の『With』へ掲載するとのことで、11月下旬から受験勉強を始め、かろうじて合格できた私の体験談が少しでも皆様の参考になれば幸いです。

## はじめに・・・48才、突然やってきた違和感 (私の人生、このままでいいの?)

---

当学部で学ぶに至った経緯を少し述べます。私は、民間企業（福祉分野とは全く違う分野）に勤め続け29年目を目前にして、「親元を離れ、独り定年退職までこのままの生活でいいのか？」と心の叫びのようなものが脳裏で連呼し、心身共に身動きできずロックされてしまったような感覚に陥ったのです。そして、その後の身の振り方も決めずに会社を退職し、一旦、地元で暮らす高齢の両親のもとへ戻ることにしたのです。そこで、社会的弱者を支援する社会福祉士という資格があることを知り、改めての社会勉強も兼ね、2015年4月に通信教育部3年生へ編入学いたしました。

無職生活2年間で大学を卒業することはもとより、今日までサポートしてくれた方々（大学の諸先生方や事務局の皆様方、共に学んだ仲間、家族をはじめとする沢山の人達）への感謝の気持ちを表すためにも2年間の学習成果として、社会福祉士試験に合格することを目標にしたのです。

## 50才、久々の受験勉強

無職生活で時間はたっぷりあったにもかかわらず、なぜか早くから勉強を始める気にならず、大学から定期的に送られてきた模擬小テストだけに取り組んでいました。

そうこうしているうちに9月になり実習開始、10～12月は実習事後レポートや卒業のための残りのレポートや卒業試験に時間が費やされ、さらに12月中旬には伯父が逝去し葬儀のサポートに駆り出されるといったあり様でしたので、受験勉強期間は実質約1カ月程となってしまいました。以下はその学習方法のご紹介です。

### ◆購入した参考書と活用法

#### ①社会福祉士過去問解説集（中央法規）

過去問3年分×3巡し得意・不得意分野の判別、解説を読み知識付与。

※平均得点率1巡目46%（不得点科目あり）、2巡目85%、3巡目97%  
（ともに不得点科目なし）

#### ②受験ワークブック共通科目編・専門科目編（中央法規）

#### ③社会福祉士国試ナビ（中央法規）

②、③ともに、不得意科目の補強や視覚的に暗記するための参考として活用。

#### ④受験対策web講座テキスト（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）

試験3週間前からweb講座視聴（視聴所要時間1,710分＝1科目約90分×19科目）。法改正などの最新情報収集や科目によっては出題予想の提示あり。

#### ⑤U-CANの社会福祉士 これだけ！一問一答&要点まとめ(ユーキャン)

毎日就寝前に19科目×5問×2巡。敢えて違う出版社のものを使用し、視点を変えての知識付与。

#### ⑥社会福祉士模擬問題集（中央法規）

試験1週間前から3回分を解答。本番試験の時間配分で行いペースを掴む、更なる知識付与。

※3回分平均得点率59%（不得点科目なし。合格水準60%未達成）

#### ◆受験勉強実施内容

##### ・11/3 全国統一模擬試験受験（岩手県社会福祉士会主催）

時間配分イメージを掴むことと、受験勉強開始前の実力把握のために受験。併せて、試験解説書を熟読し知識付与。※Cランク得点率40%

##### ・11/20～12/4 受験勉強開始

過去問3年分1巡目の解答と解答説明を一読し、正解した問題には丸印をつけ、暗記すべき項目をピックアップし、ワークブックや国試ナビを参考にして、自分にとって暗記しやすい視覚的な自作ノートを作成。

##### ・12/5～12/23 一旦、受験勉強中断

卒業のためのレポート提出や伯父の葬儀などで。

##### ・12/24から本腰を入れて受験勉強再開

日別学習計画表を作成（週単位でざっくりとした学習計画を立て、それを日別に落とし込みました。※試験日までの36日間の総受験勉強時間186時間）。

その日の学習計画がクリアできずとも、一週間以内に全てがクリアできればよしとしました。さぼった日の挽回調整日として一週間のうち一日だけ休日を設けました。勉強をさぼった日や休日でも一問一答だけは欠かさず行いました。毎日、何かしら触れる（学習する）ことで、「今日も勉強した」と自分に言い聞かせ、不安な気持ちを抱かないようにして眠りにつきました。

過去問2、3巡目は不正解問題に付箋をつけ、弱点部分の科目傾向を把握しました。もはやどんな問題が出るのか、自分では考える余裕すらなくなっていた中での「web講座」は、安心材料になりました。また、合格水準60%未達ではありましたが模擬問題集を解くことは、正解か不

正解かに拘るよりも、「新たな知識付与」の機会になりました。暗記項目は、試験10日前から自作ノートを何度も音読しながら見るようにしました。

## 試験日を迎え

---

試験当日は、一問一答と暗記用自作ノート、耳栓を持参しました。休憩時間は周りの会話でペースを乱されないために耳栓をしました。試験中は、問題用紙に自分が選択した番号を丸囲みすると共に、問題の横に、○（自信あり）、△（曖昧、再度見直し）、×（わからない）も記入し、全ての問題を解答した後に、残りの時間で△問題を再度見直しし、さらに各科目に最低ひとつは○（自信あり）があるかをチェックしました。

得点率62%しかも1問しか得点できていなかった科目がひとつあり、ギリギリセーフでの合格でした。

## 振り返ってみると

---

私にとって社会福祉学を学んだこの2年間は、自己と向き合い見つめ直す時間にもなりました。学んだことを意識しながら日常生活を送っていると、随所に活かせる部分はあると実感しています（例えば、高齢の両親との向き合い方、社会保障制度の理解、人脈づくり、傾聴姿勢など）。

以上が、得点率など詳らかに記載した赤裸々な私の体験談です。皆様  
が、最後まで「あきらめない」気持ちを持ち続け、試験終了時には「やり切った感」を抱けるようになっていっていると信じております。

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●福祉社会学 赤塚 俊治

- ・入学して初めての講義を受けました。福祉に対する率直な話など聞くことで、今後の現場で働くうえでも参考になりました。また、身近に起こっている出来事が、福祉社会学と通じているのがとてもわかり易く講義されており、さらに興味が沸きました。
- ・教科書を読むだけでは絶対に分からなかった、福祉社会学の世界を先生の講義を受けることで、今まで以上に身近な学問として捉えることができました。
- ・難しく感じる用語を分かりやすく解説してもらえたので、理解ができた。DVDを観て「無縁社会」は他人事ではないと考えさせられました。

### ●障害者福祉論 小佐々 典靖

- ・障害者についてマイナスなイメージを持っていましたが、講義を受けてとてもプラスに受け止められる内容で楽しく感じられました。
- ・教科書を読むだけでは分からないことが、スクーリングを受講し関心が深まった。ただ内容が広いので、期間中に理解することが難しい点を質問することで、回答いただき助かりました。

### ●児童(・家庭)福祉論 千葉 喜久也

- ・児童への虐待問題は新聞などで見ていましたが、リアルな虐待を受けた子どもたちの生活や心身へのダメージなどVTRを観ることでとても理解が深まりました。また、親や職員のインタビュー場面もあり、様々な視点から理解することができました。
- ・「虐待」に対する考え方が変わったスクーリングでした。大人がそれは仕方ないのではと思うことも、子どもにとっては決して小さくない影響を与えているのだということを考えさせられました。また知らず知らずの内に、家族単位で考えてしまっていることにも気づかされました。

### ●公的扶助論 阿部 裕二

- ・生活保護の保護率が1.7%前後というのはあまりに実態を反映していない低さであり、憲法の理念が生かされていないと感じます。その要因は政府をトップとする行政側の姿勢に責任があることは明らかですが、それを改めさせる国民の意識と行動が大切であるのではないかと考えさせられました。
- ・社会情勢を背景に法律や制度を説明していたので、内容や取り組みが理解しやすかった。また、統計では見えない貧困の実態に関心が高まった。